

寒霞溪 & 星ヶ城山 & 小豆島観光--① [実施日--2024年11月25~26日]



(テーマ)寒霞溪の表12景を経て星ヶ城山に立ち裏8景を下り紅葉を楽しむ

※弥生班 計 7名

① (紅雲亭)



② (画帖石)



④ (三笠山の紅葉)



③ (女羅壁)



⑤ (星ヶ城山 東峰)



⑦ (烏帽子岩)



⑥ (星ヶ城山 西峰)



寒霞溪 & 星ヶ城山 & 小豆島観光--② [実施日--2024年11月25~26日]

⑧ (二十四の瞳 映画村--1)



⑨ (二十四の瞳 映画村--2)



⑪ (マルキン醤油記念館--1)



⑩ (二十四の瞳 映画村--3)



⑫ (マルキン醤油記念館--2)



⑬ (マルキン醤油記念館--3)..



⑮ (オリーブ公園)



⑭ (マルキン醤油記念館--4)..



⑯ (オリーブ公園で昼食)



寒霞溪・星ヶ城山

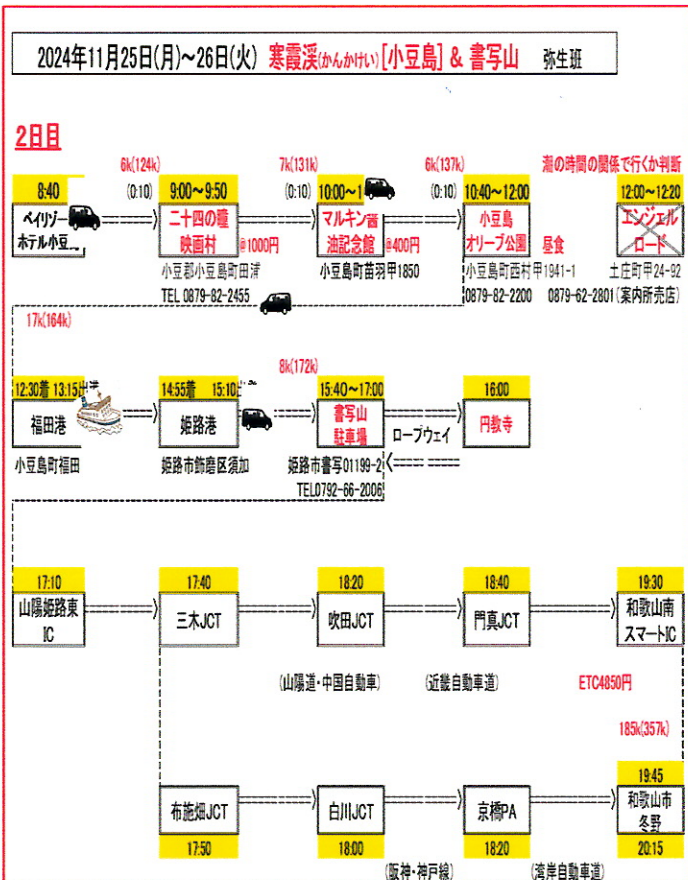
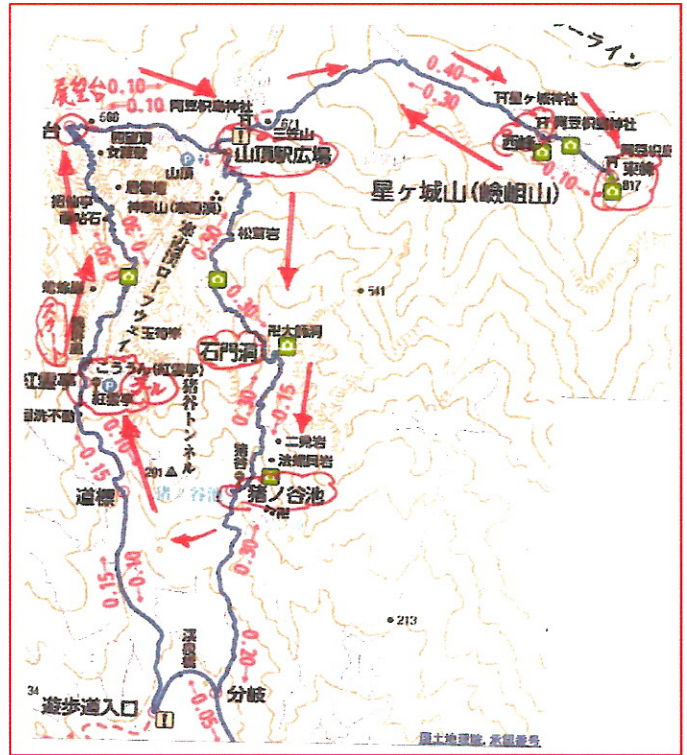
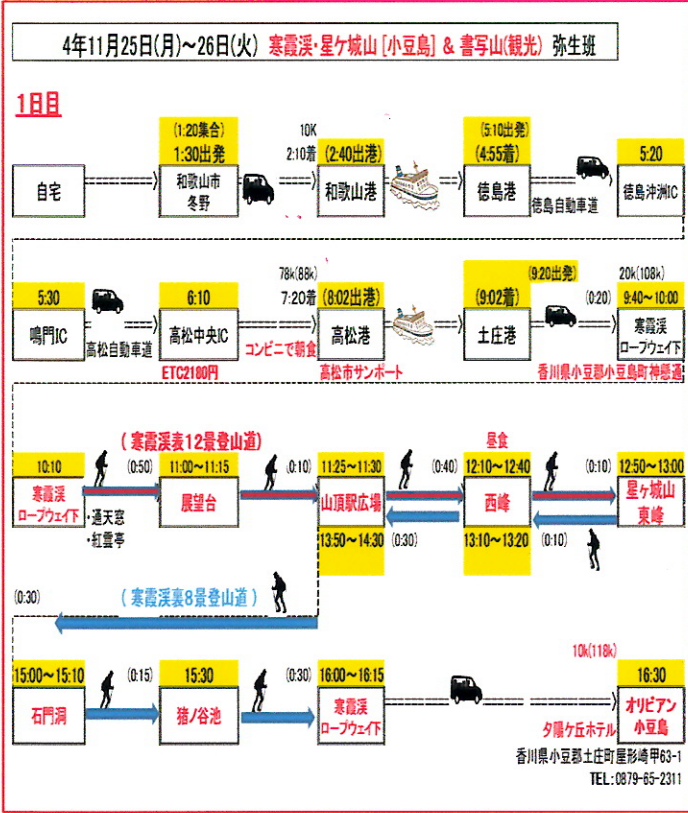
紀峰山の会 (弥生班)

※(山行日) -- 2024年11月25~26日

(メンバー) 計7名
楠部、岡本、中濱、河原、岩見、上畑、有本

※(行程) [予定]

(ロードマップ)



※[はじめに]

(寒霞溪)

- 寒霞溪は小豆島のほぼ中央に位置する渓谷で、約1300万年前の火山活動によってできた岩層が長い年月の地殻変動や風化と侵食によって多種多様な奇岩と崖地が絶景を創りあげた。
- 寒霞溪には表12景、裏8景、小豆島最高峰の星ヶ城山への登山道があります。

(寒霞溪 表12景)

- | | | |
|--------|-------|-------|
| ① 通天窓 | ② 紅雲亭 | ③ 錦屏風 |
| ④ 老杉洞 | ⑤ 蟾蜍岩 | ⑥ 玉旬峰 |
| ⑦ 画帖石 | ⑧ 層雲壇 | ⑨ 荷葉岳 |
| ⑩ 烏帽子岩 | ⑪ 女羅壁 | ⑫ 四望頂 |

(寒霞溪 裏8景)

- | | | |
|-------|-------|-------|
| ① 鹿岩 | ② 松茸岩 | ③ 石門 |
| ④ 幟岳 | ⑤ 石門洞 | ⑥ 大亀岩 |
| ⑦ 二見岩 | ⑧ 螺貝岩 | |

(星ヶ城山)

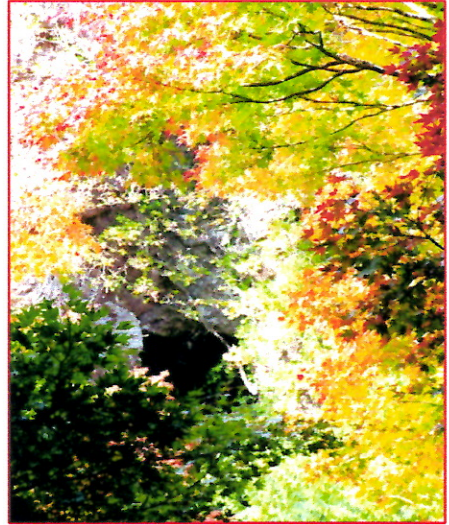
- 小豆島の最高峰で、東峰(816m)と、西峰(805m)が約400mで並んでいる。

(写真1) (表1景 通天窓 ツウテンソウ)



・天に通ずる窓のように穴が開いた岩。

(写真4) (表4景 老杉洞 ロウサンドウ)



・杉の老木と洞窟からこの名前が付けられた？

(写真2) (表2景 紅雲亭 コウウンテイ)



・深い谷あいの清流の上にたたずむ東屋。

(写真5) (表5景 蟾蜍岩 センジョガン)



・ヒキガエルが、はいつくばっているような岩？

(写真3) (表3景 錦屏風 キンビョウブ)



・巨大な屏風を立てたような岩。

(写真6) (表6景 玉旬峰 ギョクシュンボウ)



・タケノコが天にそそり立つように見える。

(写真7) (表7景 画帖石 ガチョウセキ)



- ・旅の思い出を写し描く画帳(スケッチブック)のような岩。

(写真10) (表10景 烏帽子岩 エボシイワ)



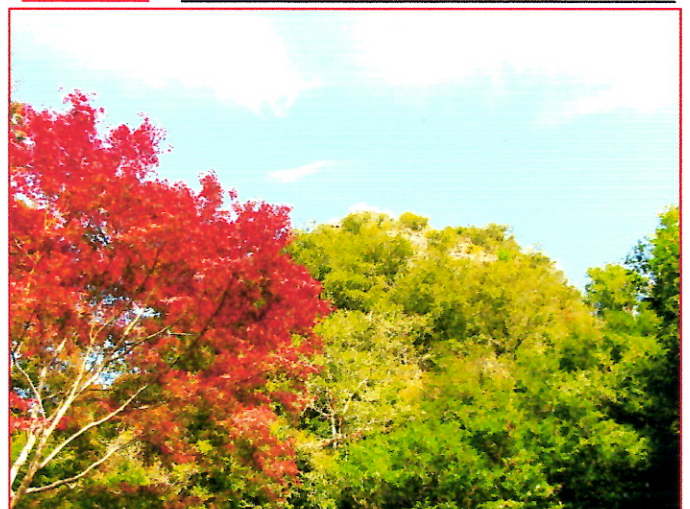
- ・今にも落ちそうな岩は、神主のかぶる冠？

(写真8) (表8景 層雲壇 ソウウンダン)



- ・雲が段々と重なり合っているような岩で、雲の祭壇のよう？

(写真11) (表11景 女羅壁 ジョラヘキ)



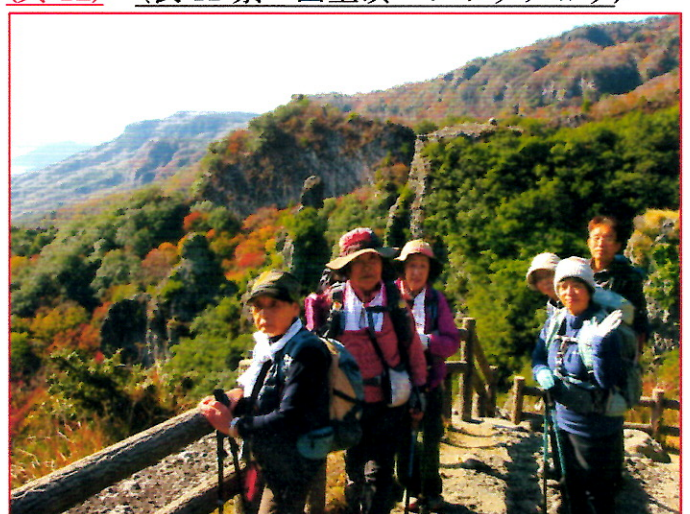
- ・サルオガセ(コケ類)が髭のように風になびいている。？
青空と紅葉のコントラスト!!

(写真9) (表9景 荷葉岳 カヨウガク)



- ・ハスの葉の葉脈を裏側から見たよう？

(真12) (表12景 四望頂 シボウチョウ)



- ・海、山、空の美しい四方の眺望が楽しめる展望台。

(写真 13) (山頂駅広場一1)



・旗を出して記念撮影。

(写真 16) (星ヶ城山 東峰一1)



・山頂には、石の塔がある。

(写真 14) (山頂駅広場一2)



・晴天で気持ちが良い。

(写真 17) (星ヶ城山 東峰一2)



・本日一番の絶景。

(写真 15) (三笠山の紅葉)



・鮮やかな紅葉をバックに!

(写真 18) (星ヶ城山 西峰)



(写真19) (西峰で昼食)



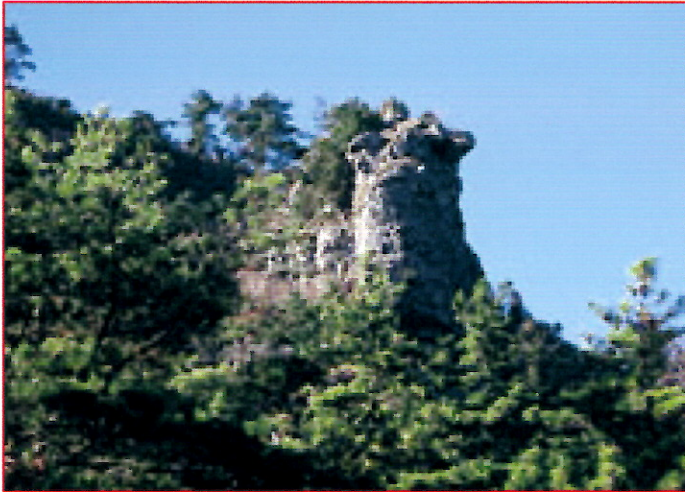
・絶景を見ながら、食事が進む。

(写真22) (裏3景 石門 セキモン)



・自然が作った石の門。

(写真20) (裏1景 鹿岩 シカイワ)



・シカが山を見ている姿？獅子やラクダにも見える。

(写真23) (裏4景 石門洞 セキモンドウ)



・岩をくり抜いたところに霊場。

(写真21) (裏2景 松茸岩 マツタケイワ)



・マツタケの形をした岩。

(写真24) (裏5景 幟岳 ノボリダケ)



・ノボリ(古式の旗)の形をした岩。

(写真 25) (裏6景 大亀岩 タイキガン)



・亀が山をはい登っているよう？ ガメラか？

(写真 28) (ホテル小豆島での夕食)



(写真 26) (裏7景 二見岩 フタミイワ)



・伊勢の二見ヶ浦にある夫婦岩に由来？

(写真 29) (二十四の瞳 映画村-1)



・二十四の瞳の作者「壺井栄」と映画監督の「木下恵介」の歴史を学ぶ。

(写真 27) (裏8景 螺貝岩 ホラガイイワ)



・ホラガイの形の岩。

(写真 30) (二十四の瞳 映画村-2)



・大石先生と12人の子供と老人でジャンケン。

(写真 31) (マルキン醤油記念館--1)



・醤油漬けのメンバー。

(写真 34) (オリーブ公園で昼食)



・オリーブスパゲッティを堪能。

(写真 32) (マルキン醤油記念館--2)



・醤油づくりの歴史を学ぶ。

(写真 33) (オリーブ公園)



・雨の中を見学。

※[最後に]

- ①大きなトラブルはないが、メンバーの一人が下山途中に携帯電話を無くす。ザックの中を探すも見当たらず、昼食時操作していたので忘れてきたのではと…。メンバーの携帯から通話するも応答コールはするものの反応なし。再度コールすると、ザックの底から震動音がして見つかった。いつもは腰ポシェットに入れていたが何気なく消音してザックにしまい込んでいた事象で、思い込みのトラブルであった。
- ② 天気に恵まれ、日本三大渓谷美のひとつに数えられるという寒霞渓の表12景、裏8景を掲示板の解説を見ながら奇岩等の見どころを鑑賞でき、周りの紅葉した植物とのコントラストが印象的であった。星ヶ城山からは、奇岩や渓谷と瀬戸内海が一望でき、絶景に感動しました
- ③ 翌日は雨天となったが、小豆島観光として、「二十四の瞳映画村」や「マルキン醤油記念館」「オリーブ公園」を見学し、現地特産のオリーブスパゲッティを堪能しました。
- ④ 小豆島の絶景と観光地に感動し、フェリーで瀬戸内一周の旅を楽しめました。